



痔核 ~診断から手術までの流れ~

●痔は男女問わず、身近な病気のひとつです

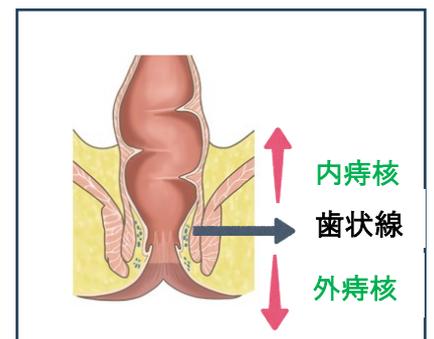
痔とは肛門周辺の病気をまとめた呼び名で、日本人の**3人に1人**は痔を抱えているとも言われており、たいへん身近な病気のひとつです。

便秘や**下痢**になりやすい方や、**女性**でも出産時のいきみを機に痔になる方も多くいらっしゃいます。

●「痔核」とは

肛門疾患には様々ありますが、今回は、その中で最も多い「痔核」に絞って病気や治療についてのお話しをしていきます。

痔核は、「**いぼ痔**」とも呼ばれます。
痔核は排便時のいきみによって直腸や肛門の内側の血のめぐりが悪くなって腫れ上がったもので、直腸と肛門の境界（**歯状線**）より内側にできたものを「**内痔核**」、外側にできたものを「**外痔核**」といいます。



症状が進むと**排便時**にいぼが肛門の**外に出てきたり**、**出血**したり、炎症などによる**痛み**を感じたりすることがあります。

●痔核の治療について

痔核は脱出の程度により**I~IV**の段階に分けられます。

I型から**II型**までの場合は、まずは**内服**や**座薬**などで様子を見ますが、**III型以上**は自然に治癒することが難しいため**手術**をお勧めしています。

- I型**：排便時に脱出はしないが、**出血**することはある
- II型**：排便時に脱出し、違和感を感じるが、自然に**元に戻る**
- III型**：排便時に脱出し、指などで押し込まないと**元に戻らない** **手術適応!**
- IV型**：常に肛門外に脱出し、指で押ししても**戻らない**



●当院で行う痔核の手術について

- ①脊椎麻酔で**腰から麻酔**の注射をします。
- ②肛門部に麻酔薬を集めるために、**6分間**座った姿勢をとった後、麻酔の効果を確認します。
- ③手術の姿勢をとるために、両手を前に出した姿勢で**俯せ**になります。

座った姿勢で医師が腰に麻酔の注射をします (①②)



6分後

おしりが良く見えるように、俯きの姿勢で手術します (③)



手術時間は **30分～60分程**で終了します。
また、手術後は **10日程**の入院が必要です。

手術中は、患部の痛みは感じません
手術室にいること自体が不安な方には、ご希望により、**鎮静剤**を使用して眠っている間に手術を受けて頂くことも出来ます。

●最後に

排便時の痛みなど、症状が**悪化**と一時的な**軽快**を繰り返しているからと**受診を控えて**、時には**何年**も痔をもったまま過ごし、**重度**な状態になってから受診される方もいますが、早期に受診されれば、手術を回避できたり、手術治療が必要な場合でも、切除範囲が小さくて済む場合があります。

当院では幅広い年齢層の方の痔の手術を多く行っています。

気になる症状のある方は、まずはお問合せ頂き、外来診察へお越し下さい。